

小学6年 社会科「戦国の世から天下統一へ」

柏市立西原小学校 名前 石神喜寛

1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

(1) 単元について

本単元は、織田信長と豊臣秀吉の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解することがねらいである。織田信長と豊臣秀吉に関わる事象を関連、総合させて戦国の世の統一に果たした役割を考えさせる。単元の本質的な問いを「天下統一に大きな働きをしたのは織田信長か豊臣秀吉か」で設定し、追究していく。まとめの段階では、Google スライドに自分の考えをまとめ、プレゼンする。織田信長と豊臣秀吉の働きについて情報を収集・整理・表現する学習活動を行い、情報活用能力の向上を図る。

(2) 身に付けたい力

- ・「戦い」「国内」「外国」の3つの視点で、織田信長と豊臣秀吉について ICT を活用しながら情報を収集し、整理する。
- ・織田信長と豊臣秀吉の働きを比較しながら天下統一に向けた働きを理解する。
- ・戦国の世の統一に向け大きな働きをした織田信長と豊臣秀吉の働き比較し、表現する。

(3) 学習計画

学習のゴール：天下統一を進めた織田信長と豊臣秀吉の働きについて、Google スライドにまとめ、学年で紹介し合う。

| | 時 | 学習内容 ○身に付けたい力 |
|---------|-----------|---|
| 1 課題の設定 | 1 | ・「長篠の戦い」や「戦国大名の領地」の資料を見ながら、わかったこと、気づいたこと、思ったことをジャムボードで共有する。 ・年表や資料を見ながら問いを立て、学習の見通しを立てる。 ○資料を読み取る力。 |
| 2 情報の収集 | 2 3 | ・外国との関わりが日本に様々な影響を与えたことを知る。 ・織田信長と豊臣秀吉が行ったことを知る。 ・織田信長と豊臣秀吉で詳しく調べたい人物を選択し、調べる。 ○織田信長が天下統一のために外国と積極的に関わったり、商業を盛んに行ったりしたことを理解する。 ○豊臣秀吉が天下統一のために武士が世の中を支配する仕組みをつくったことを理解する。 ・調べたことをもとに自分の考えを友達や家族に伝えたり、家庭でNHK for school「歴史にドキリ」を視聴したりする。 |
| 3 整理・分析 | 4 (本時) | ・織田信長と豊臣秀吉の働きについて整理する。 ・天下統一に大きな働きをしたのは織田信長と豊臣秀吉のどちらか考え、グループで話し合う。 |

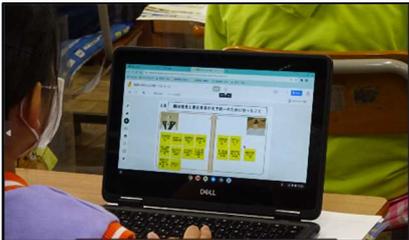
| | | | |
|---|--------|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> 天下統一に大きな働きをしたのは織田信長と豊臣秀吉ではどちらか自分の考えをノートに書く。 ○織田信長と豊臣秀吉の情報を比較・統合しながら考えを深める。 | |
| 4 | まとめ・表現 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 織田信長や豊臣秀吉では、どちらが天下統一に大きな働きをしたのか判断し、自分の考えを Google スライドにまとめる。 同じ意見のグループでプレゼンを検討し、改善する。 ○根拠や理由を明確にしながら自分の考えを表現できる。 |
| 5 | 振り返り改善 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> プレゼンをする。 学習を通して学んだことをまとめる。 ○学習を振り返り、事後の学習に活かす。 |

2. 本時について（本時 4/6 時間）

（1）本時の目標

世の中の様子や織田信長と豊臣秀吉の働きに着目して、天下統一を果たした織田信長と豊臣秀吉の役割を考え、表現している。（思考力・判断力・表現力等）

（2）本時の展開

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 |
|------|--|--|
| 5 分 | <p>④ 天下統一に大きな働きをしたのは織田信長か豊臣秀吉か。</p> <p>1 前時までの調べ学習の内容を共有する。 織田信長と豊臣秀吉がどのような働きをしてきたのか情報を共有する。 指示：織田信長と豊臣秀吉が行ったことをジャムボードの付箋に書きなさい。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●前時までに調べた内容を Google ジャムボードで共有し、全体で確認できるようにする。 ●二人の人物の違いに焦点を当て、考えさせることで特徴をつかませる。 |
| 10 分 | <p>2 織田信長と豊臣秀吉の働きを比較し、違いを考える。 指示：付箋の色を変えてそれぞれの取り組みを分類しなさい。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●事象や二人の働きに着目しやすくするように、グループで要約を考えさせる。 ●自分の考えが持てない児童には、友達の考えを参考にしてよいことを伝える。 |

| | | |
|-----|---|--|
| 10分 | <p>3 織田信長と豊臣秀吉の働きの特徴を要約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで調べたことや働きの違いから考えるようにする。 <p>発問：2人の取り組みはどのような違いがありますか。</p> | |
| 5分 | <p>4 織田信長と豊臣秀吉のどちらが天下統一に大きな働きをしたのかを考え、自分の意見をノートに書く。</p> <p>発問：織田信長と豊臣秀吉では、どちらが天下統一に大きな働きをしたと思いますか。</p> <p>指示：自分の考えとその理由をノートに書きなさい。</p> | |
| 10分 | <p>5 織田信長と豊臣秀吉のどちらが天下統一に大きな働きをしたのかを話し合い、考えを深める。</p> <p>指示：自分がどちらの考えなのかジャムボードに付箋を貼りなさい。</p> | <p>●自分の考えを伝える時には、根拠をもとに説明できるようにする。</p> |
| 5分 | <p>6 まとめ、振り返り</p> <p>本時を振り返り Google スライドに入力する。</p> | |



どちらが天下統一に大きな働きをしたか?

【主張】
天下統一に大きな働きをしたのは、 である。

【理由】 ※理由はいくつでもよい。
飯島は、信長が織田軍を率いる中、豊浦は、秀吉が豊臣軍を率いる中、それぞれ大きな働きをした。また、飯島は、信長が織田軍を率いる中、豊浦は、秀吉が豊臣軍を率いる中、それぞれ大きな働きをした。また、飯島は、信長が織田軍を率いる中、豊浦は、秀吉が豊臣軍を率いる中、それぞれ大きな働きをした。

【10月3日（社会） 振り返り】

物事によって付箋の色を細かく分けたり、他の班の意見を取り入れることができた。班で話し合っ
て色を決めることができた。

3 実践の流れ

○課題の設定（1時間目）

「長篠の戦い」や「戦国大名の領地」の資料を見て、わかったこと、気づいたこと、思ったことをジャムボードで共有した。資料を通して、戦国大名が協力し合っていたことや、織田軍と武田軍では戦い方に違いがあることなどに気づかせた。次に、年表を提示し天下統一までにどのような流れになっているのか概要をおさえた。そして、子ども達からの疑問や調べてみたいことを集約し、どのように織田信長と豊臣秀吉が天下統一を進めていったのか調べる活動につなげた。



★1人1台端末 Google ジャムボード

「長篠の戦い」資料をジャムボードの背景に設定し、各班で資料から読み取れることを付箋に記入し、共有する。

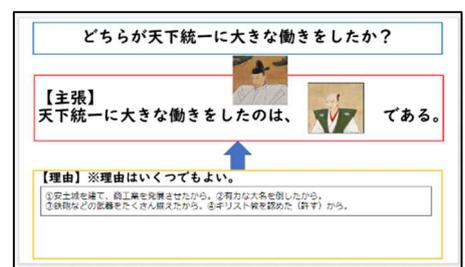
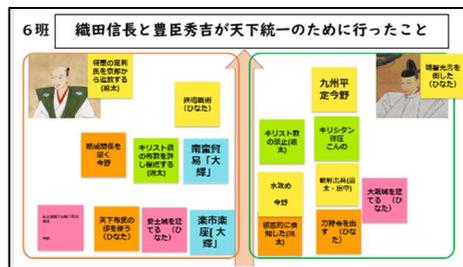
○情報の収集（2～3時間目）

第2時は、教科書を使い必要な情報を収集した。教科書の読解方法として、関連する資料と文章とをつなぐように指導する。こうすることで、構造的に教科書を読解し大切な情報をつなげることができると思った。

第3時は、織田信長と豊臣秀吉で詳しく調べたい人物を選択して調べる活動を行った。全体で楽市・楽座や太閤検地などの主な取り組みを共有した後、より詳しく調べたい人物を調べ、調べる活動を行った。授業の終末に、「織田信長と豊臣秀吉のどちらが天下統一に大きな働きをしたのか」という発問をし、自分の考えを家族に伝えることを家庭での課題とした。

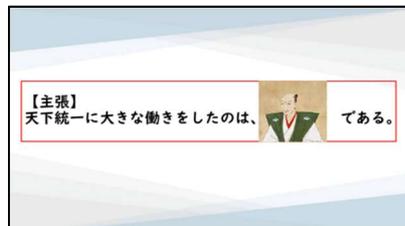
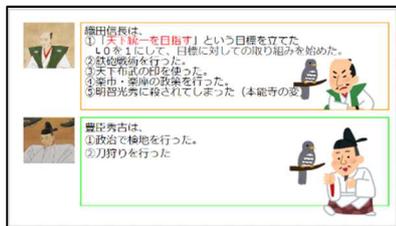
○整理・分析（4時間目）

前時の復習として織田信長と豊臣秀吉の働きについて整理した。その後、天下統一に大きな働きをしたのは織田信長と豊臣秀吉のどちらか考え、グループで話し合わせた。授業の終末では、天下統一に大きな働きをしたのは織田信長と豊臣秀吉ではどちらか自分の考えを Google スライドに入力させた。



○まとめ・表現（5時間目）

織田信長や豊臣秀吉では、どちらが天下統一に大きな働きをしたのか判断し、自分の考えを Google スライドにまとめた。同じ意見のグループで検討しながら改善していくようにした。



★1人1台端末 Google スライド

スライドは次の流れの型を配布した。

- ① 織田信長と豊臣秀吉の取り組み
- ② 自分の考え・主張
- ③ 理由・根拠

○振り返り・改善（6時間目）

作成した Google スライドでプレゼンした。プレゼンを聞いている児童は、アンケートフォームに自分や友達の発表を通して、勉強になったことや感想を書き込んでいくようにした。発表後、友達のアンケートを共有した。



★1人1台端末 Google フォーム

アンケートフォームの項目

- ① 友達の発表についての感想や学んだこと
- ② 自分の発表の振り返り
- ③ 「戦国の世から天下統一へ」の学習の振り返り

実践を終えて

「天下統一に大きな働きをした人物を選択し、スライドにまとめる」というパフォーマンス課題に取り組むことで、それぞれの知識がつながり学習内容の理解が深まったことがアンケートからわかった。さらに、端末を活用して情報共有する時間を短縮することで、児童の思考・判断・表現する機会を増やすことができ、情報を活用したり、まとめたりすることで情報活用能力の育成につながったと考えられる。

第1時では、「長篠の戦い」や年表などの資料から織田信長と豊臣秀吉が天下統一に向けてどのような取り組みをしていったのか大まかな流れをおさえ、単元末に「天下統一に大きな働きをしたのは織田信長か豊臣秀吉か」というテーマでプレゼンをするパフォーマンス課題を伝え、学習の見通しをもたせることができた。

第2時、第3時では、本単元で必要となる知識を全体で確認し、織田信長と豊臣秀吉の取り組みを調べていった。調べる際には、まずは教科書や資料集から情報を収集し、より深く追求したい場合は端末を活用するようにし、基本となる情報を得ることにつながった。

第4時では、これまでの情報をもとに各グループで織田信長と豊臣秀吉の取り組みを分類・整理し、自分の意見を深めた。端末を活用することで、共有が容易になり協働的に分類整理できるため、学力低位の児童も作業しながら主体的に活動に参加できた。

単元の終盤では、これまでに獲得した知識をもとに Google スライドを作成し、プレゼンした。作成していく過程で、教科書や資料集、ノートなどを見返したり、友達とプレゼンを検討したりしながら思考を深めていっていることがアンケートからも読み取れた。

【単元を振り返っての児童の感想】（※原文のまま掲載）

○自分はもともと歴史が苦手で、いやだなと思っちゃっていたけれど、織田信長などの知っている歴史人物が出てきて、学習していくうちに楽しくなってこれからの歴史の学習が楽しみになりました。これでどの武将が何をしたとかがわかったしスライド発表でも色々な理由とかあって面白かったしこの授業自体も楽しかった。

○みんなの発表を聞いて、自分では考えなかった色々な考えがあって、調べたもの以外のものがたくさんわかってよかった。

○私は織田信長も豊臣秀吉もどちらも天下統一に大きな働きをしたと思いました。みんなの説明を聞いてみると、織田信長もすごいことを行っていると知って、どっちの考えもよく分かってきました。私が調べていないことを詳しく調べている人がたくさんいて、より考えが深まりました。次回、スライドを使った発表があったときは、イラストなどを使ってわかりやすく説明できるよう、工夫したいと思います。

○初めてこういうふうに私はこっちのほうが天下統一に大きな働きをしたのはこの人とかそういう発表は初めてだったから最初うまくいくか心配だったけどとっても楽しくできてよかったです。それに私は織田さん派だったけど豊臣さん派の人の意見も聞いたのと織田さん派の意見も比べると二人のやったことなどが結構違ってきたので面白かったです。

○天下統一を誰がやったなど自分には関係ないと思っていたけど、もしかしたら豊臣秀吉が天下統一をしたから今の日本が生まれたのかもしれないと思ったら、結構重要なのだなと思った。なので、織田信長や豊臣秀吉、戦国時代のことを学べてよかった。今回やった発表で、みんな納得いくような理由を発表していたから、凄いなと思った。